

## 現場紹介・遠賀川中流流域下水道事業

直方支部 直方県土整備事務所 西田 英晃

### 1. はじめに

直方県土整備事務所は、福岡・北九州両都市圏の中間に位置し、遠賀川水系の流域に広がる豊かな自然に恵まれた直方市、宮若市及び鞍手郡鞍手町、小竹町の2市2町を所管区域としています。

この地域は、石炭産業で栄えていましたが、昭和30年代のエネルギー革命とともに、衰退の一途を辿っていましたが、近年では、炭鉱跡地を利用した自動車産業の誘致や、大型ショッピングセンターの建設等のまちづくりが進められております。



### 2. 公共下水道と流域下水道

下水道の種類として、公共下水道と流域下水道という定義があります。

公共下水道とは、終末処理場を有するもの、または、流域下水道に接続するもの等とされており、当県では、各市町村が事業を行っております。

これに対し、流域下水道とは、2以上の市町村の区域における下水道を排除するものであり、且つ、終末処理場を有するもの等とされており、県で事業を行っております。

### 3. 遠賀川中流流域下水道事業

私が所属している都市施設整備課では、事業計画区域が、1級河川遠賀川中流に位置しており、下水道整備の効率的、経済的観点から、直方市公共下水道事業を骨格として近隣都市の宮若市及び、小竹町を加え、発足した遠賀川中流流域下水道事業を行っております。

遠賀川中流流域下水道は、若宮宮田直方幹線・小竹直方幹線・小竹宮田幹線・直方幹線・宮田幹線の5幹線からなり、平成11年度に都市計画決定・事業認可の取得を行い、事業着手しております。

現在は、全体計画総延長L=32.4kmの内、約L=27.7kmが整備されており、着々と事業進捗を図っております。(平成28年1月時点)

※鞍手郡鞍手町については、遠賀川下流流域下水道として北九州県土整備事務所にて整備されています。

#### 4. おわりに

私が、下水道事業に携わって、3年目になりますが、まだまだ未熟だと痛感させられる毎日です。

私が担当した現場では、事前に行った地質データと、現地の状況が大きく異なったため、工法の変更を行わざるを得なくなり、非常に苦勞をしましたが、現場が完成した時は、一段とうれしく思いました。

また、このことから、現地調査や設計の重要性を身に染みて学ばせてもらいました。

今後も、これまで学んだことを生かしながら、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与すると共に、公共用水域の水質保全に資することを目的とし、効率的な下水道整備に鋭意に努めていきたいと思ひます。



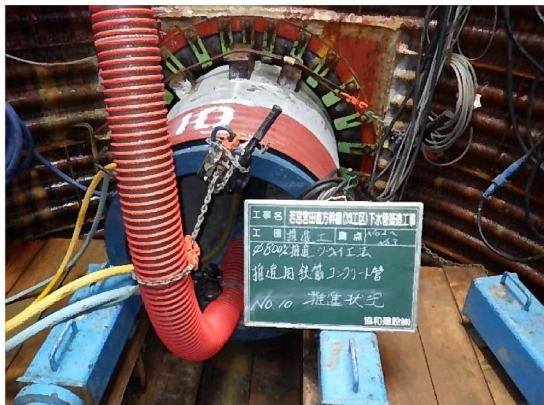
写真：推進機操作状況



写真：推進機（中大口径φ800）



写真：推進機（小口径φ250）



写真：推進状況（中大口径推進φ800）



写真：推進状況（小口径φ250）